# ユニットガーデン パーゴラ

# 取付説明書

●このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●正しく施工、組付けをしていただくために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

## ■施工上のご注意

●T-ブロック上へ柱を施工する場合、あらかじめT-ブロックに金具を埋めこんでおく必要があります。
●製品の施工については、必ず取付説明書に従ってください。
●施工完了後に取付説明書を施主様にお渡しください。

## ■使用上のご注意

●木材の性質上、樹液がしみ出てくる場合があります。除去する場合は、市販の「ラッカーうすめ液」をつけた布で拭き取ってください。
●製品の破損などによる身体の損傷の危険がありますので、以下の使い方を守ってください。
・パーゴラの桁や小桟にぶら下がったり、登ったりしないでください。
・パネルをゆすったり、乗ったり、寄りかかったりしないでください。
・パーゴラやパネルに雨具、洗濯物、布団等を乗せないでください。

## 梱包明細表

1 パーゴラ柱セット　L：２１１０

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 右柱（L：２１１０） | 1 |
| 左柱（L：２１１０） | 1 |

3 パーゴラ中間柱セット　L：１２００

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 中間柱（L：１２００） | 1 |

5 パーゴラ小桟セット

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 小桟 | 8 |
| 小桟ー桁組付ネジ　φ４×４０サラ | 16 |
| 木ダボ | 16 |
| 取付説明書 | 1 |

7 パーゴラ柱固定部品セット（L：１２００用）

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 柱ー笠木固定金具 | 1 |
| 柱固定ボルト　M１０X１００六角 | 2 |
| 柱固定ナット　M１０用袋ナット | 2 |
| 柱固定平座金　M１０用 | 4 |
| 柱固定バネ座金　M１０用 | 2 |
| 柱ー桁固定ボルト　M８X９０六角 | 2 |
| 柱ー桁固定ナット　M８袋ナット | 2 |
| 柱ー桁固定平座金　M８用 | 4 |
| アンカー棒 | 1 |

8 縦格子パネル　W：１１８５

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 縦格子パネル（W：１１８５） | 1 |

9 縦格子パネル　W：７２０

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 縦格子パネル（W：７２０） | 1 |
| 上下枠 | 2 |

10 ラチスパネル　W：７２０

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| ラチスパネル（W：７２０） | 1 |
| 上枠 | 1 |
| 下枠 | 1 |

2 パーゴラ柱セット　L：１２００

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 右柱（L：１２００） | 1 |
| 左柱（L：１２００） | 1 |

4 パーゴラ桁セット

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 桁 | 2 |

6 パーゴラ柱固定部品セット（L：２１１０用）

| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 柱固定金具A | 2 |
| 柱固定金具B | 2 |
| 柱固定金具組付ネジ　M５X１０サラ | 8 |
| 柱固定ボルト　M１０X１００六角 | 4 |
| 柱固定ナット　M１０用袋ナット | 4 |
| 柱固定平座金　M１０用 | 8 |
| 柱固定バネ座金　M１０用 | 4 |
| ホールインアンカー　M１０X６０（ナット付き） | 8 |
| 柱ー桁固定ボルト　M８X９０六角 | 4 |
| 柱ー桁固定ナット　M８袋ナット | 4 |
| 柱ー桁固定平座金　M８用 | 8 |

11 縦格子・ラチスパネル取付部品セット

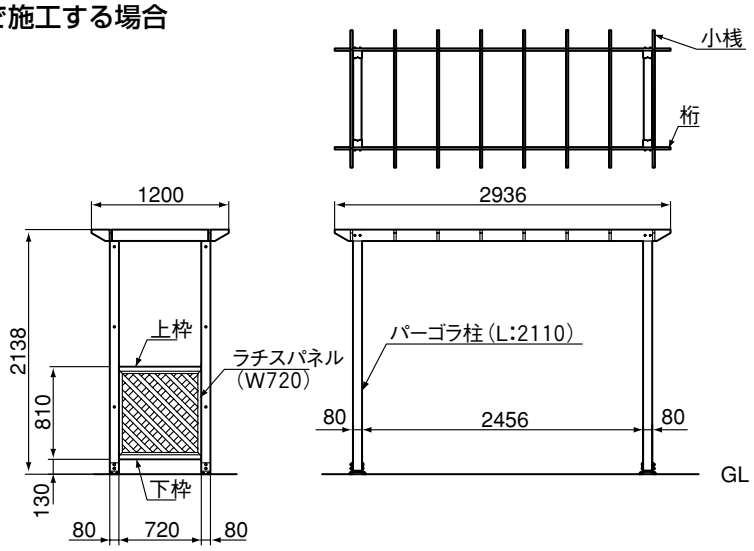
| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 柱ー上下枠固定金具 | 4 |
| 柱ー上下枠固定金具取付ネジ　φ３．８X４１ | 16 |

12 乾式施工部材　パーゴラ柱固定部品セット

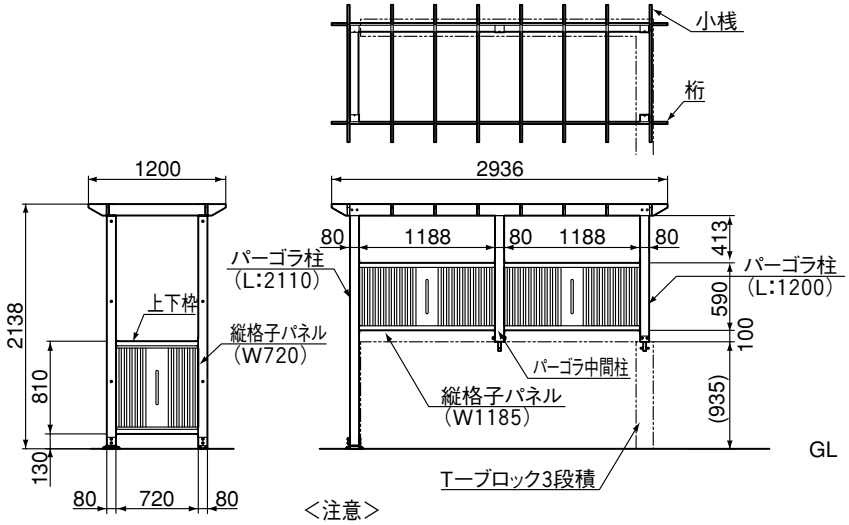
| 名　　称 | 員 数 |
|---|---|
| 柱取付角材 | 1 |
| 柱取付金具 | 1 |
| 柱ー笠木固定金具 | 1 |
| 柱取付角材固定ネジ　M５X１２トラス | 4 |
| 柱取付金具ー角材固定ネジ　M5X12トラス | 4 |
| 柱ー笠木固定金具固定ネジ　M５X１６サラ | 4 |
| 柱固定ボルト　M１０X１００六角 | 2 |
| 柱固定ナット　M１０用袋ナット | 2 |
| 柱固定平座金　M１０用 | 4 |
| 柱固定バネ座金　M１０用 | 2 |
| 柱ー桁固定ボルト　M８X９０六角 | 2 |
| 柱ー桁固定ナット　M８袋ナット | 2 |
| 柱ー桁固定平座金　M８用 | 4 |

# 1. 基本寸法図および各部名称

## 1-1 パーゴラ単体で施工する場合



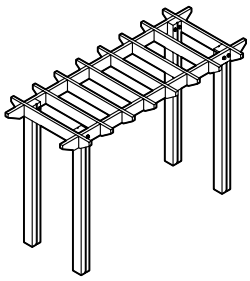

## 1-2 T－ブロックと組み合わせて施工する場合

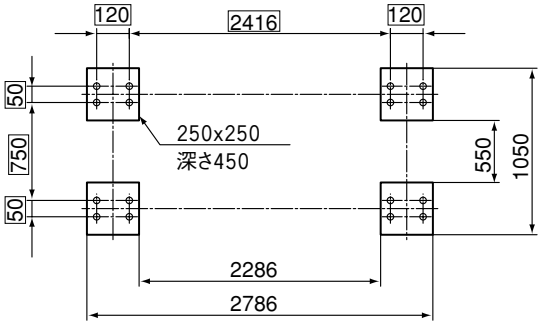



<注意>
●縦格子パネル(W1185)を取付けない場合、パーゴラ中間柱は必要ありません。

# 2.基礎の施工

## 2-1 パーゴラ単体で施工する場合



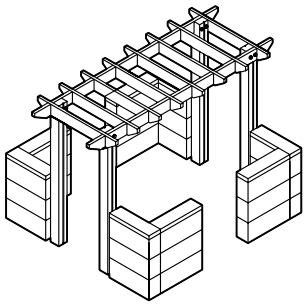


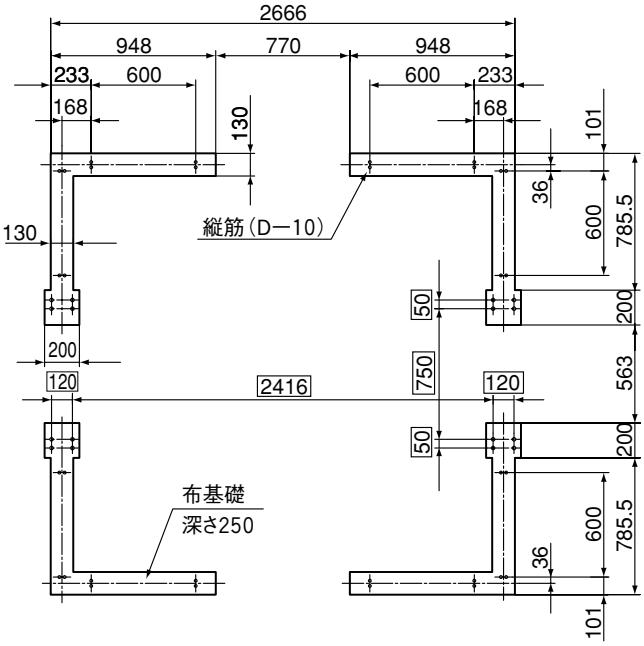

❶左図の寸法の独立基礎を施工してください。
❷コンクリート硬化後にパーゴラ施工用のホールインアンカーの墨出しを□内寸法にしたがって行ってください。

# 2.基礎の施工（つづき）

## 2-2 パーゴラ柱の外側にTーブロックを施工する場合

例：ユニットガーデン　プラン4（基本サイズ）






＜モルタル施工の場合＞

❶右図の寸法の布基礎を施工してください。

❷コンクリート硬化後にパーゴラ施工用のホールインアンカーの墨出しを □内寸法にしたがって行ってください。

＜注意＞

●パーゴラの基礎とブロックの布基礎は連続して施工してください。

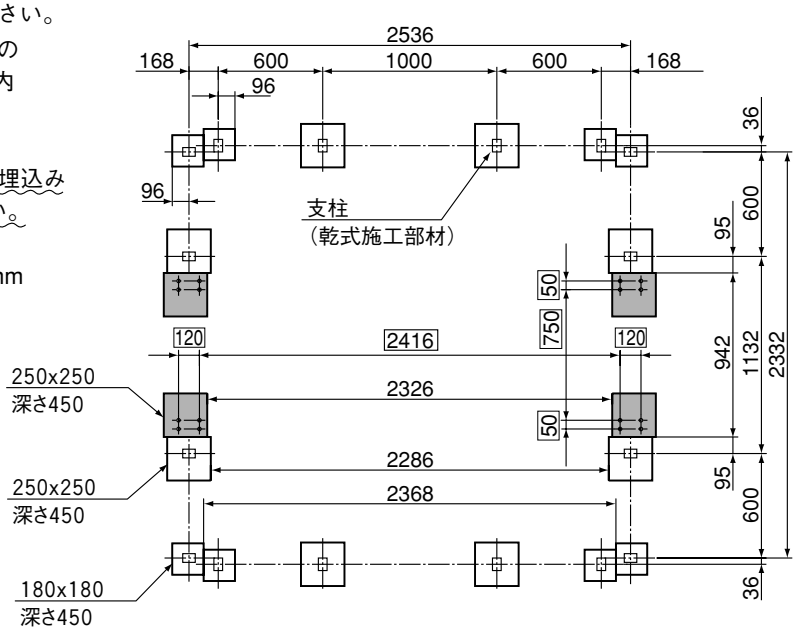
＜乾式施工の場合＞

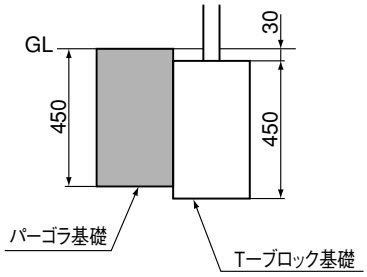
❶右図の寸法の独立基礎を施工してください。

❷コンクリート硬化後にパーゴラ施工用のホールインアンカーの墨出しを □内寸法にしたがって行ってください。

＜注意＞

●パーゴラの基礎とTーブロックの基礎は埋込み深さが異なりますので注意してください。パーゴラ基礎上面はGL面と同一面に、Tーブロック基礎上面はGL面よりも30mm下げて施工してください。（下図参照）

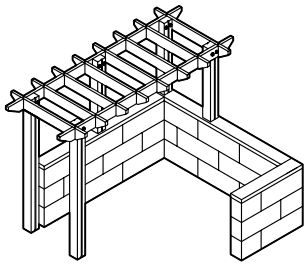


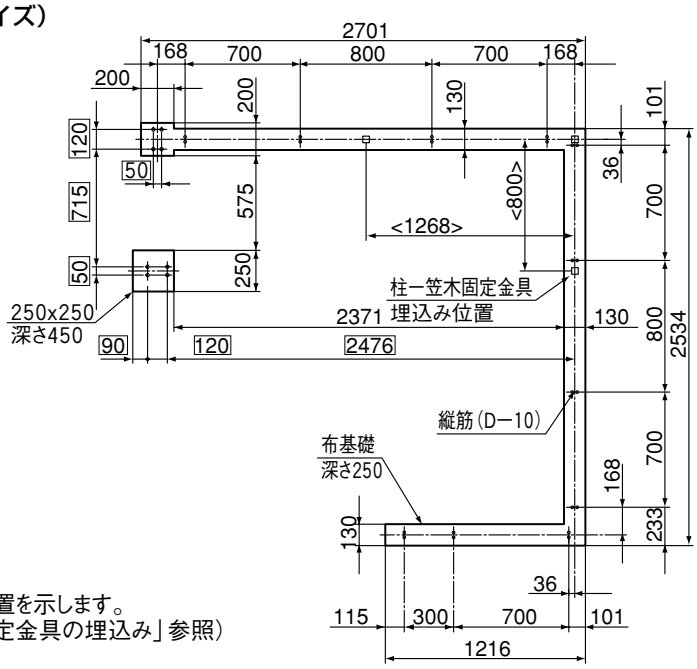



# 2.基礎の施工（つづき）

## 2-3 パーゴラ柱の一部をT－ブロック上に施工する場合

例：ユニットガーデン　プラン3（基本サイズ）






＜モルタル施工の場合＞

❶右図の寸法の基礎を施工してください。

❷コンクリート硬化後にパーゴラ施工用のホールインアンカーの墨出しを ［　　］ 内寸法にしたがって行ってください。

＜注意＞

●ブロックの布基礎に隣り合うパーゴラの基礎は連続して施工してください。

●＜　＞寸法は「柱ー笠木固定金具」埋込み位置を示します。
（5ページ「5-1　笠木の加工と柱ー笠木固定金具の埋込み」参照）

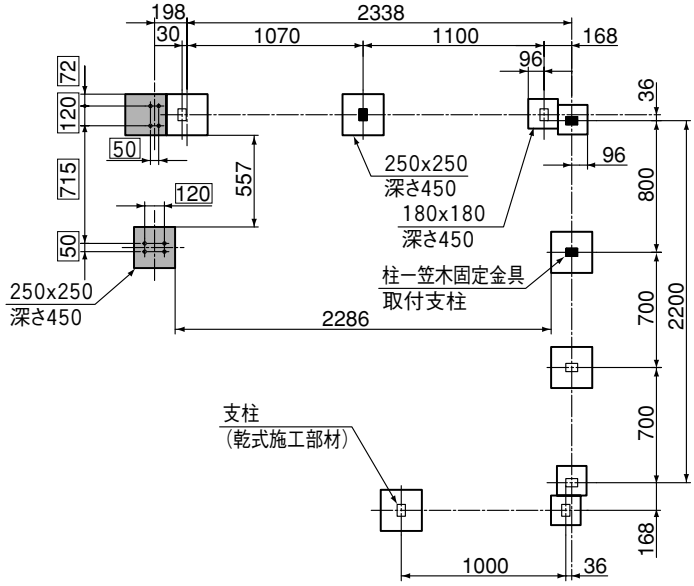
＜乾式施工の場合＞

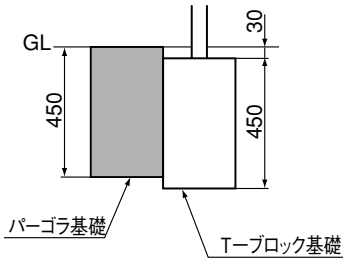
❶右図の寸法の独立基礎を施工してください。

❷コンクリート硬化後にパーゴラ施工用のホールインアンカーの墨出しを ［　　］ 内寸法にしたがって行ってください。

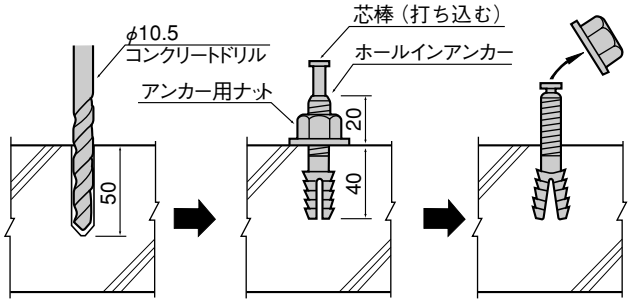
＜注意＞

●パーゴラの基礎とTーブロックの基礎は埋込み深さが異なりますので注意してください。
パーゴラ基礎上面はGL面と同一面に，
Tーブロック基礎上面はGL面よりも30mm下げて施工してください.（下図参照）




# 3.ホールインアンカーの施工




❶ φ10.5のコンクリートドリルで深さ50以上の下穴を開けてください。

❷ホールインアンカーに付属のアンカー用ナットを左図の位置までねじ込んでください。

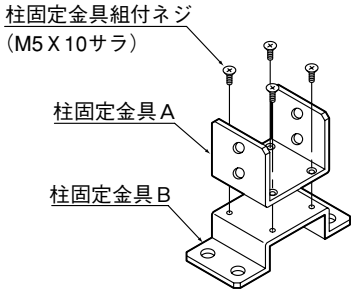
❸下穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマーで十分打込んでください。

❹アンカー用ナットを一旦、取外してください。

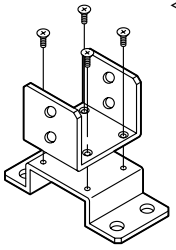
# 4. 柱（L:2110）の施工

## 4-1 柱固定金具の組付け

❶柱固定金具Ａと柱固定金具Ｂを組み付けてください
通常は（ａ）の取付方向で組付けてください。

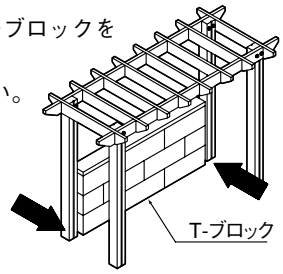



**（ａ）通常の取付方向**

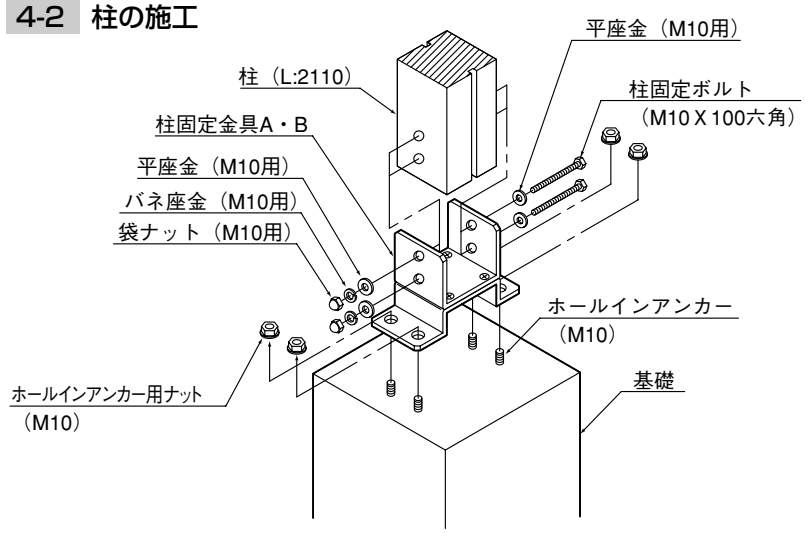


**（ｂ）Ｔ－ブロックを柱の間に施工する場合の取付方向**

＜注意＞
●右図の矢印部のように柱の間にＴ－ブロックを施工する場合は、
（ｂ）の取付方向で組付けてください。

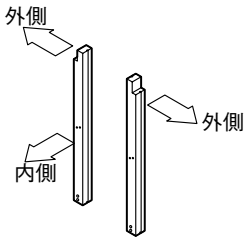



## 4-2 柱の施工




❶柱（L:2110）に柱固定金具を取付けてください。
❷柱固定金具をホールインアンカーに固定してください。

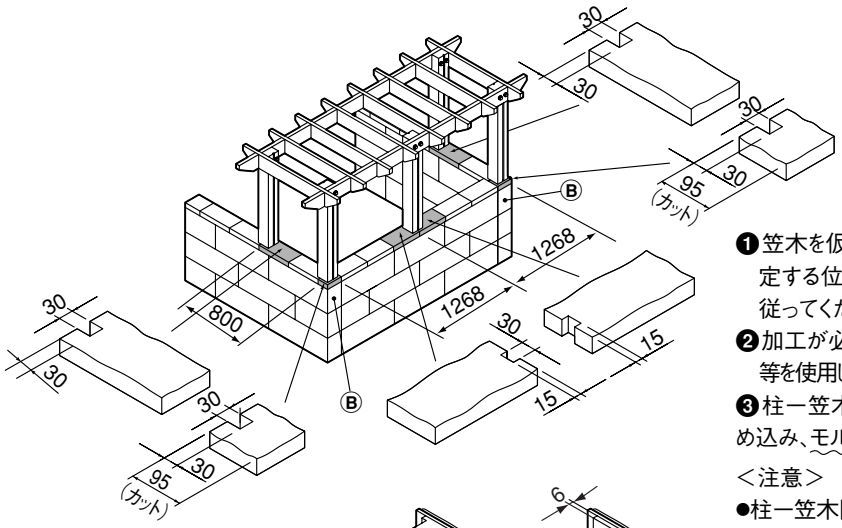
＜注意＞
●あとで寸法調整が必要となる場合がありますので、この時点ではボルト、ナットの締めつけは仮止めとしておいてください。
●柱には取付方向があります。上部の切欠き面を外側に中間部の下孔加工面を内側にしてください。

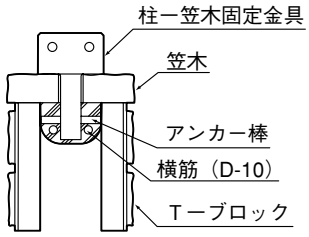



# 5. 柱の施工（Tーブロック上へモルタル施工する場合）

**注意：必ずＴ－ブロック最上段の施工前に行ってください.**

## 5-1 笠木の加工と柱－笠木固定金具の埋込み



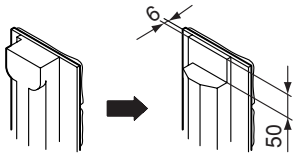




＜A図＞

❶笠木を仮置きして、柱を固定する位置を決めてください。柱を固定する位置はブロックの中央部とし、柱ピッチについては左図に従ってください。
❷加工が必要な笠木を左図の寸法に基づいてダイヤモンドカッター等を使用して、切り欠いてください。
❸柱－笠木固定金具をTーブロック最上段の横筋モルタルに埋め込み、モルタルが硬化する前に柱ピッチを調整してください。

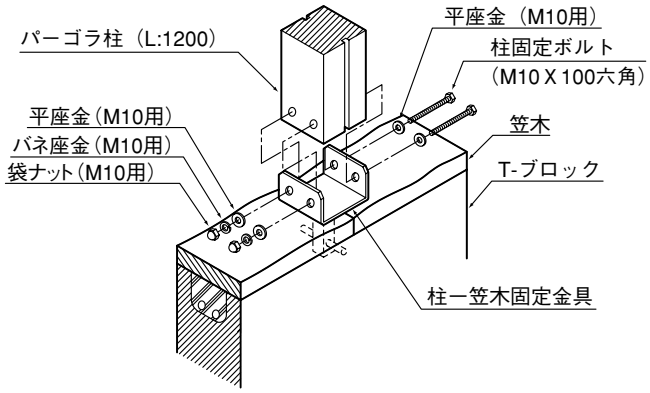
＜注意＞
●柱－笠木固定金具の取付方向に注意してください。必ずアンカー棒がブロックと直角になる方向で固定をしてください。
＜A図参照＞
●笠木は必ず「砂岩調笠木」を使用してください。
●Tーブロック最上段の横筋は必ず2本施工してください。

●Ⓑ部の端部パネルは
右図の様に加工してください。



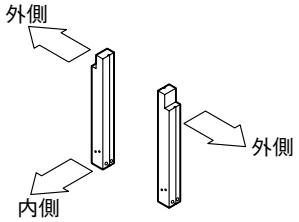
# 5. 柱の施工（Ｔ－ブロック上へモルタル施工する場合）つづき

## 5-2 柱の施工




❶Ｔ－ブロックの充てんモルタルが硬化してからパーゴラ柱（L:1200）を柱ー笠木固定金具に取付けてください。

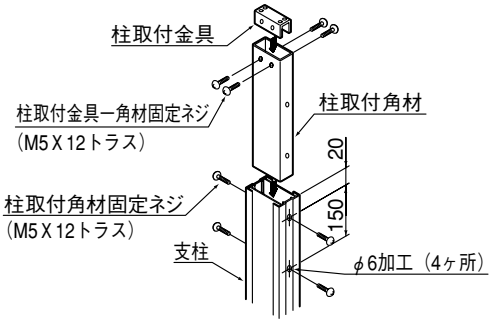
＜注意＞
●あとで寸法調整が必要となる場合がありますので、この時点ではボルト、ナットの締めつけは仮止めとしておいてください。
●柱には取付方向があります。上部の切欠き面を外側に、下部の下孔加工面を内側にしてください。

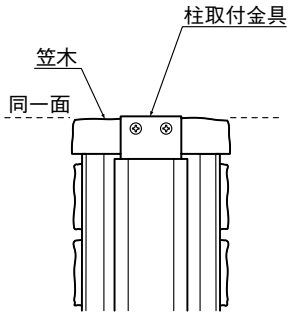



# 6. 柱の施工（Tーブロック上へ乾式施工する場合）

**注意：必ずＴ－ブロック最上段の施工前に行ってください.**

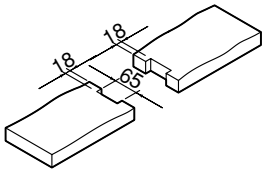
## 6-1 柱の施工



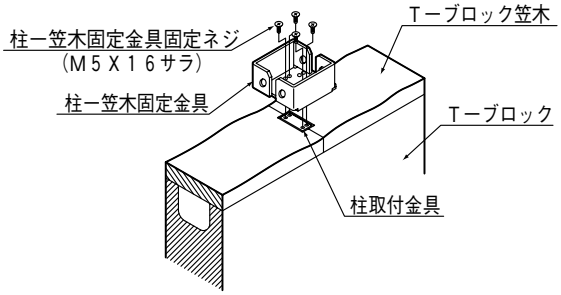

❶「乾式施工部材」の取付説明書にしたがってブロックを施工してください。
❷最上段ブロックの積み上げ前に、パーゴラ柱を取付ける支柱にφ６の孔加工を４ヶ所に行ってください。（左図参照）
❸支柱と柱取付角材、柱取付金具を組み付けてください。柱取付金具と笠木の面がほぼ同じ高さになります。
❹「乾式施工部材」の取付説明書にしたがって最上段ブロックの横材を取付けてください。

## 6-2 笠木の加工

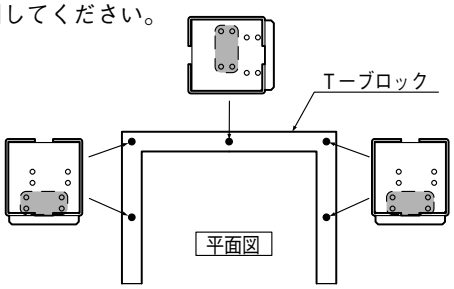



❶パーゴラ柱を取付ける支柱の上にくる笠木に左図の寸法の切り欠きを加工してください。
❷「乾式施工部材」の取付説明書に従って笠木を施工してください。
＜注意＞
●笠木は必ず「砂岩調笠木」を使用してください。

## 6-3 パーゴラ柱固定金具の取付け




❶柱取付金具へ柱ー笠木固定金具を取付けてください。
＜注意＞
●柱ー笠木固定金具は取付位置によって取付方向と使用する取付孔が異なります。下図を参考にして正しく取付けてください。
　　内の取付孔を使用してください。

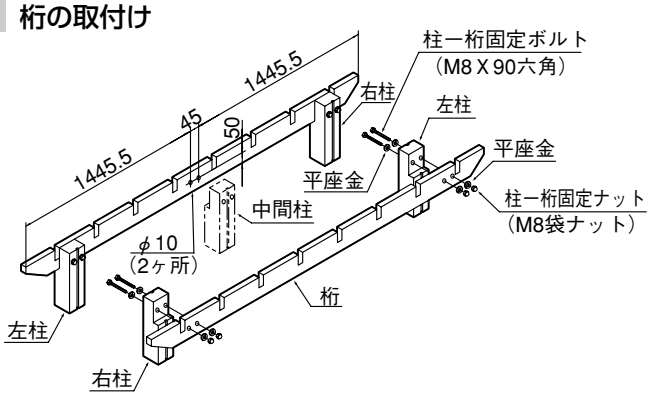



## 6-4 柱の施工

❶６ページ「5-2柱の施工」を参照してください。

# 7. 桁と小桟の施工

## 7-1 桁の取付け

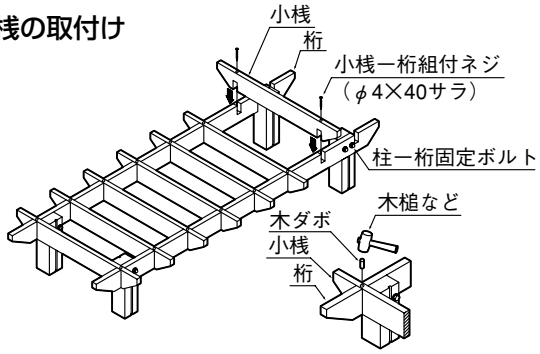



❶柱天端部の切欠き部に桁をのせて、柱に桁を取付けてください。

＜注意＞
●中間柱を取付ける場合は、桁の中間部にφ10の孔を2ヶ所加工してください。（左図）

●あとで寸法調整が必要となる場合がありますので、この時点では仮止めとしておいてください。

## 7-2 小桟の取付け

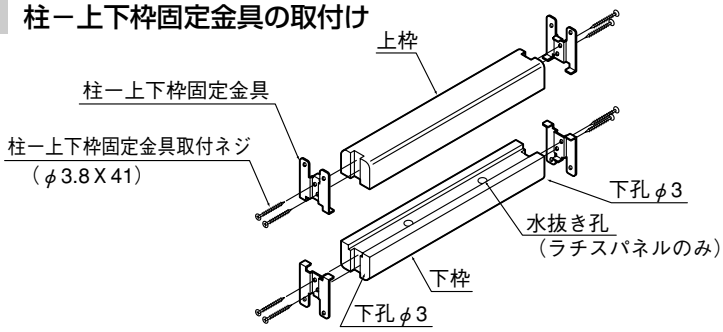



❶桁の切欠き部へ小桟の切欠き部を完全にはめこんで、小桟ー桁組付ネジ（φ4×40サラ）で固定をしてください。
＜注意＞
●小桟がはめこみづらい場合は、柱ー桁固定ボルトを緩めて寸法調整をしてください。

❷小桟ー桁組付ネジのザグリ孔に木槌などを使用して木ダボを叩き入れてください。

# 8. 縦格子パネル（W:720）,ラチスパネル（W:720）の取付け

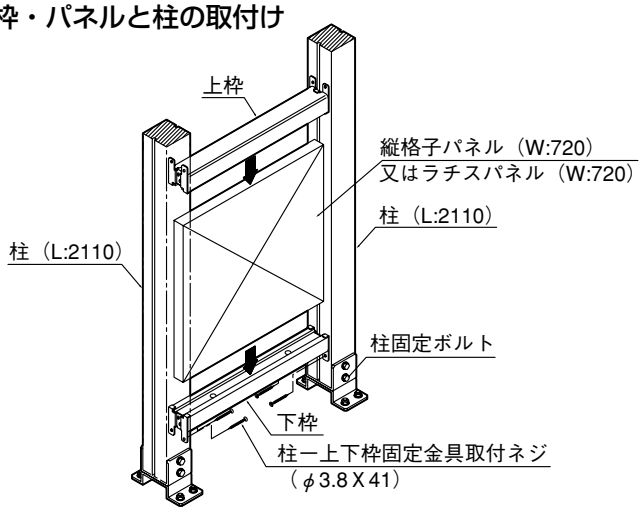
## 8-1 柱ー上下枠固定金具の取付け




❶上枠・下枠の両端部に左図の向きで柱ー上下枠固定金具を柱ー上下枠固定金具取付ネジ（φ3.8 X 41）で取付けてください。

＜注意＞
●ラチスパネルを取り付ける場合、水抜き孔がある方が下枠です。
●必ず下孔（φ3）を加工してください。

## 8-2 下枠・パネルと柱の取付け




❶柱（L：2110）の下部に開いている下孔を基準として、下枠を柱へ柱ー上下枠固定金具取付ネジ（φ3.8 X 41）で取付けてください。

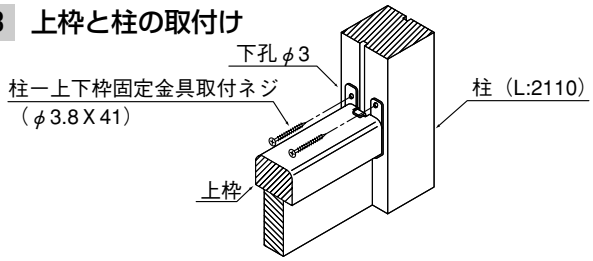
＜注意＞
●柱の間に下枠が入らなかったり、隙間が開いてしまう場合は、柱固定ボルトを緩めて、柱ピッチを調整してください。

❷縦格子パネル（W：720）またはラチスパネル（W：720）を下枠の溝にはまるように柱の間に挿入してください。

❸上枠の溝がパネルにはまり込むように柱の間に挿入してください。

# 8.縦格子パネル（W:720）,ラチスパネル（W:720）の取付け（つづき）

## 8-3 上枠と柱の取付け

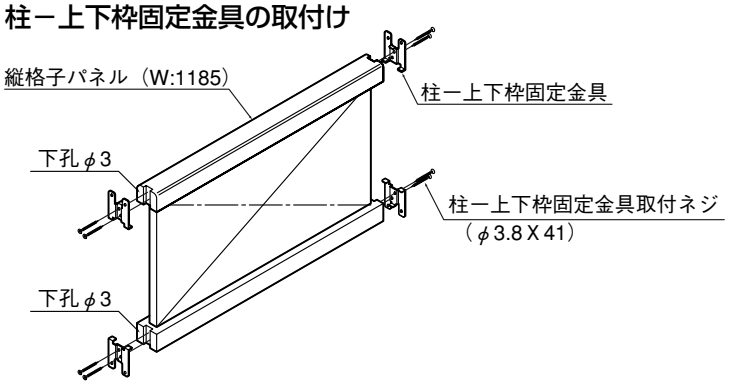



❶パネルの垂直度を確認した後、上枠を柱ー上下枠取付ネジ（φ3.8X41）で柱へ取付けてください。

＜注意＞
●必ず下孔（φ3）を加工してください。

# 9. 縦格子パネル（W：1185）の取付け

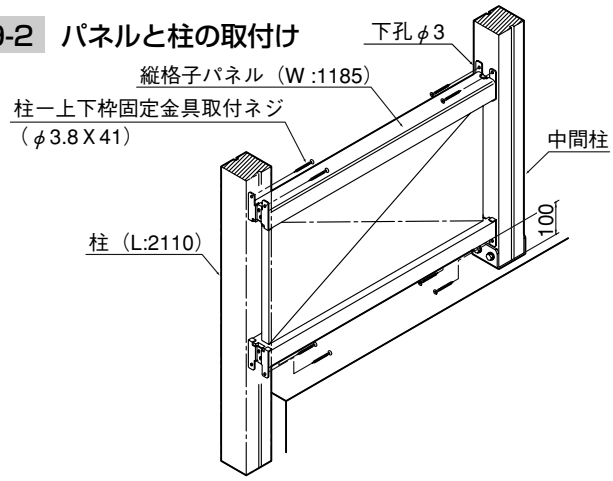
## 9-1 柱ー上下枠固定金具の取付け




❶縦格子パネル（W：1185）の上枠・下枠の両端部に左図の向きで柱ー上下枠固定金具を柱ー上下枠固定金具取付ネジ（φ3.8X41）で取付けてください。

＜注意＞
●パネルには上下があります。
角が丸く加工されている側が上枠です。
●必ず下孔（φ3）を加工してください。

## 9-2 パネルと柱の取付け




❶パネル下側固定位置には柱に下孔が加工されています。それを基準として、下側の柱ー上下枠固定金具を柱へ柱ー上下枠固定金具取付ネジ（φ3.8X41）で取付けてください。

＜注意＞
●柱の間にパネルが入らなかったり、隙間が開いてしまう場合は、柱固定ボルトを緩めて、柱ピッチを調整してください。

❷パネルの垂直度を確認した後、上側の柱ー上下枠固定金具を柱ー上下枠固定金具取付ネジ（φ3.8X41）で取付けてください。

＜注意＞
●必ず下孔（φ3）を加工してください。

## 工事店様へ

●最後にネジ・ボルトの締め忘れがないか確認して下さい。
●御使用いただきましてありがとうございました。
●施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。

## 施主様へ

●本体の改造をしないでください。転倒や破損によりけがをすることがあります。
●使用中にネジのゆるみが生じた場合は、しっかりと締め直してください。本体が壊れてけがをすることがあります。
●木は自然の素材ですので、使用にさしつかえない範囲の節があります。また、個体に色の差があります。経年変化や使用状況により、反りや割れ、ささくれが生じる場合がありますが、木の強さに影響はありません。
●塗装する場合は木材保護着色塗料（サドリン等の塗膜を作らないタイプの塗料）での塗装をおすすめします。木製品の塗装寿命は使用条件や気候条件によりばらつきがあります。1～2年毎に木材保護着色塗装を行なうことをおすすめします。
●木材の腐食や変形の原因となりますので、木材表面に故意に傷をつけないように注意して下さい。
●ゴミ・汚れ等を長期間放置しますと、汚れが落ちにくくなりますので、速やかに清掃して下さい。

取説コード
F153
200003A
200004C